

鯖街道 熊川宿

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川

TEL/FAX (0770) 62-0330



上ノ町の町並み

上ノ町景観整備西半分の完成

中ノ町、下ノ町と進めていただいていたきた景観工事も、はや上ノ町の整備にまで及び、西側半分が完成しました。

上ノ町は最も東側、近江側にあたり、峠を予感させる登りとなっています。道幅は広く、左右にゆっくり曲がりながら展開しています。前川が、道の右左に振れて流れるのは、唯一上ノ町のみです。

建物は、平入りと妻入り、或は茅葺きであったものが混在しています。

東のはずれには、女留め番所が復原されています。これは、全国唯一の現位置での番所建物の復原です。今年度で、この番所、更には道の駅の真側まで、景観整備を行う予定です。

これで、熊川全域の道路や前川などの景観整備がすべて完了することとなります。

※注釈 文化財用語で、原形に復元することを復原と表記します。

目次

熊川宿	1
寄稿文	2
寄稿文・事業計画	3
イベント予告・行事報告	4
活動報告・話題	5・6

熊川のまちづくりの想いごと

熊川区長 石倉豊作

区長を拜命して四ヶ月余が過ぎました。昨年度から区長代理制度が始まり、第四次総合計画の作成、秋のイベントなど結構忙しい毎日でした。本年度になりまして、新町の誕生、選挙等多忙な毎日でしたが、春の祭礼は好天のうちに無事終了することが出来ました。これ偏に、区民の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

熊川のまちづくりは、平成八年に国の選定を受けて十年を経過しました。この間、景観整備も着々と進み、本年度上ノ町の半分を残すのみとなり、今年で概ねの完成を見ることとなります。ここに至るまでには、多くの方のご努力と、町をはじめ行政のご尽力をいただいたことを思い感謝したいと思えます。

さて、昨年度の旧上中町の第四次総合計画を作成するに際し、目標として「観光地としてではなく、癒しの場としてのまちづくりを進める」旨の目標を定めました。少子高齢化の現在、観光地化を進めると昼は人が歩いていますが、夜は

誰もいない場所になる恐れがあります。昼は観光客と商売される方がい

ますが、夜は誰も住んでいないところになりかねません。現にそういうところがあると聞いています。

熊川の良いところは、観光地化が進んでいないところであり、散策するのによいところだと考えております。今後ともこの方向で進んでもらいたいと思います。

また、これらのことを維持するためには、語り部をはじめ皆様のボランティア的活動と、若者を如何に多く残すことができるかにかかっております。他の地域を見ましても、自治活動的事項の活発なところは発展していますが、何も



白石神社祭礼より山車運行(平成17年5月3日)

考えず活動の低いところは発展していません。合併し新町となりました今日、行政区が広がり、各地区の細部までは行政の目の届きにくいところもあるかと思えます。

今後まちづくり委員の皆様には更なる活躍を期待いたしますが、区民の皆様にもまちづくりにつきまして今まで以上に関心を持って頂きたいと思えます。

子供の頃の遊びと思い出

入江功

私の子供頃の思い出といいますが、まず遊びと思い出を切り離す事が出来ません。特に学校から帰ってからの遊びが沢山ありすぎて思い出しながらペンを進めています。

昭和二十二年に学制改革により熊川村立中学校が併設されました。私が小学校に入学した時には、小学六学年、中学三学年でした。そうした中、一日一回教室等の掃除がありました。その時には何組かの班に分かれ掃除をするのですが、低学年だけであるのではなく一年生から中学三年生が同じ班になり、今でも覚えています。当時制服もなかった時代ですので、上級生、

中学三年の人がおじさんに見えて中には髪をはやした上級生もいたかもわかりません。

班長さんの云う事をきかないと大変な事で、恐かった思い出が残っています。でも恐かった上級生から教えてもらった事も数多くあります。それも遊びを通じて教えてもらった事で、たとえば、竹に釘を打つのは大変むずかしく、たいたいが割れてしまいます。竹が割れないで釘を打つ事を教えてくれたのも上級生です。これらは冬に遊ぶ「そり」を作る時に教えてもらった事です。

私は上ノ町ですので遊ぶ場所は、家の前の大岩か、現掛谷さんの所は国鉄バスの車庫で、前に少し広い所があり、いつも子供達が集まって遊ぶ所でした。特に「コマ」で遊んだ事が一番思い出に残っています。コマが廻せるようになる。と今度は手のひらに乗せる。それが出来るようになると手のひらで

熊川にて思うこと

熊川駐在所 中嶋 恵 二

気持ち自然と
沸き上がってき
ました。

また、私は仕

「なんか、山ん中やな。」「でも、町並みがなんかいいさあ、前に川も流れてるしの。」

この会話が私と妻が初めて熊川へ訪れたときに交わした会話です。

その後、私は単身赴任して、早一年が過ぎ去ってしまい、その間、熊川の皆様には一方ならぬお世話になり感謝の念に耐えませんが、この御恩は私の人生で一生消えることは無く、また、この御恩を返すには私の仕事をもって返すほかに、微力ながら皆様の平穩を祈って今後も巡回に力を注ぎたいと思っており、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

さて、この熊川に来て思うことは、私は今まで全くと言っていいほど歴史に興味が無かったのですが、巡回によって町並みの整然さや、住民の熊川に対する誇り等に触れると、やはり歴史の重さを感じると同時に「熊川を守らなければ」という



熊川駐在所付近

この歴史ある熊川を存続させるために、次世代の者が何か興味を持って「熊川を守る」という何かが必要ないような気がしてなりません。色々と生意気な事を述べましたが、私は熊川と、そこに住む温かい人々が好きです。

コマを遊しながら鬼ごっこ。上手に手のひらにコマが乗らないとすぐに鬼につかまれます。こんな遊びの中に自分で苦勞をし、また工夫をして

遊んだ時、いつも上級生と一緒に子供同士のコミュニケーションというか、思いつくすばらしい仲間との和、今でも忘れ

る事が出来ません。ここで嬉しい事を書きます。実は熊川に「ホテル」が帰って来てくれました。

子供の頃は中条橋や北川沿いにはホテルが乱舞していました。ここ何年かホテルの飛んでいる所を見なかったのですが、六月十八日に私の家の裏で飛んでい

るのを見つけました。孫に見せてやりたい一心で、五分ほどで十匹捕って来ました。孫も初めて本物のホテルを見て喜んでくれました

が、孫よりも私の方がなつかしく、来年もホテルさん来てくれるかな。と思っております。

「どしょっこふなっこの唄が聴こえてきそうな私達の村。都会へ出た子供や孫達が自慢出来るふるさと。熊川宿の町並みも今や全国区。そしてホテルが乱舞する熊川宿。ここが私達のすばらしいふるさとなんです。

「前川は熊川宿の名刺です」

上ノ町 功

皆様の平穩な暮らしを守るため、今後もしっかり頑張りますので宜しくお願い致します。

乱文にて失礼します。

平成17年度 若狭熊川宿
まちづくり特別委員会
事業計画

5月27日、平成17年度第1回まちづくり委員会が開かれ、下記の事業計画が話し合われました。

- 5月下旬 案内板の補修
- 6月中旬 城跡の整備
- 7月中旬 町並み通信第11号の発行
- 8月上旬 コインロッカーの設置
- 8月 一乗寺と交流会
- 9月上旬 宿場館前の井戸ポンプ設置について
- 10月中旬 大杉地区活性化を住民と共に考える
(18年度へ継続計画)

※町並み関連の駐車場、川、道、神社等の草刈り、清掃は随時行います。



大岩(子守岩)

「どしょっこふなっこの唄が聴こえてきそうな私達の村。都会へ出た子供や孫達が自慢出来るふるさと。熊川宿の町並みも今や全国区。そしてホテルが乱舞する熊川宿。ここが私達のすばらしいふるさとなんです。」

「前川は熊川宿の名刺です」

上ノ町 功

皆様の平穩な暮らしを守るため、今後もしっかり頑張りますので宜しくお願い致します。

乱文にて失礼します。

5月27日、平成17年度第1回まちづくり委員会が開かれ、下記の事業計画が話し合われました。

- 5月下旬 案内板の補修
- 6月中旬 城跡の整備
- 7月中旬 町並み通信第11号の発行
- 8月上旬 コインロッカーの設置
- 8月 一乗寺と交流会
- 9月上旬 宿場館前の井戸ポンプ設置について
- 10月中旬 大杉地区活性化を住民と共に考える
(18年度へ継続計画)

※町並み関連の駐車場、川、道、神社等の草刈り、清掃は随時行います。

予告

第20回 国民文化祭・ふくい2005

越前・若狭 食の祭典 鯖街道

と き：平成17年 **10月30日**

ところ：鯖街道熊川宿一帯（福井県三方上中郡若狭町）

問合せ先：第20回国民文化祭若狭町実行委員会

熊川宿の秋祭り——熊川いっぶく時代村。
平成16年は『プレフェスタ国文祭 2005』
食の祭典として開催されました。

プレフェスタ国文祭 2005

熊川いっぶく時代村

と き：平成16年10月31日

ところ：福井県上中町熊川宿・道の駅「若狭熊川宿」

主催：第20回国民文化祭上中町実行委員会・熊川区



郷土料理の試食

新築の鯛、鯖寿司、熊川餃子、
熊川こんにゃくの岩揚げや
つきたてのお餅をいただきました。



山車巡行

お囃子を奏でる子どもたちを
車せてみんなで山車を曳きました。



ブリキの 金魚レース

活流の熊川をブリキの
金魚が泳ぎました。

食文化講演会

いづの佐々木邦彦社
長に熊川町にまつわる
お話しをお聞きしまし
た。



この他に、フォトコンテストや
俳句、川柳、菊花の展示などが
開かれました。

朝市・物産展

道の駅では、新鮮な地物野菜やお花などを
買い求める方が多く見られました。



舞台・作品展示

瓜生大神楽、紅太鼓、熊子太鼓が
祭りを盛り上げてくれました。



5/3

賑やかに

白石神社祭礼

快晴に恵まれ、恒例の白石神
社祭礼が行われました。青年や
子どもたちが奏でる祭り囃子を
本陣で奉納した後、山車に乗り
込み、住民に曳かれて熊川宿を
巡行しました。子どもみこしも
とても可愛かったです。
本陣横広場ではバザーが開か
れ賑わっていました。



遥かブータンの人たちに、
熊川宿の人々が、
両U 出会うたあ！



第二部の歓迎会では、山本初
枝さんのお琴の調べに乗せてブ
ータンエッセイコンテストの入
賞者ら八名をお迎えしました。
手作り料理で夕食を共にし、
熊川音頭を披
露、片言の英
語で歓談しま
した。



また翌日には、
教育委員会の主催
で意見交換会が開
かれ、ブータンの
方々の歴史的建造
物への熱い思いを
お聞きしました。



2/11

和やかに

まちづくり総集会和 ブータン歓迎会

第一部の総集会では、熊川宿の
現状や課題、語り部の中塚政雄さ
んのお話しをお聞きしました。

ブータン歓迎会



熊川文書の里の会が、熊川の昭和史を勉強する会を開きました。宮下市郎先生が昭和初期の

11/5 熊川の昭和史勉強会

出来事や時の人を取り上げて宮下版「その時、歴史が動いた!」を勉強しました。また熊川の昔話やエピソードなどもお聞きし、和やかな茶話会となりました。



9/17 19 全国町並みゼミ大聖寺大会

全国町並み保存連盟創立三十周年を記念した町並みゼミ大聖寺大会に役員四名が出席しました。全体会と八つの分科会、永六輔さんの特別講演があり、分科会場への道に迷うハプニングもありました。



8/21 工学院大学生が調査・学習会

建築都市デザイン学科、後藤研究室の学生三十名が熊川宿の町並みを調査研究され、発表会と住民との意見交換をする学習会が開かれました。現実的には幾多の問題はあるものの、学生たちの斬新な発想をお聞きし、住民と意見交換をしました。



ラジオ大阪の「近畿川ものがたり」で熊川宿の前川が紹介されました。これは久保佳代リポ

3/15 ラジオ大阪で前川を紹介

ーターが熊川に連れられ、宮本一男さんにインタビューし、前川を解説・収録されたものです。後日その内容を収録したCD入りの冊子が送られてきました。



12/28 年末夜廻り警戒

上中消防団の年末特別警戒出発式に先立ち、夜廻り警戒を行いました。若狭消防署上中分署の出動と共に、熊川区民が上と下から拍子木を鳴らしながら「火の用心」を呼びかけました。寒い中、多数の参加があり、みんなで防火を誓いました。



11/13 14 フラワーアレンジメント作品展

細川佐絵子フラワーデザインスクールのフラワーアレンジメントと、未生流生花の作品展が旧逸見勤兵衛家で開かれました。かわいいブーケや本格的な生花が町家いっばいに展示され、絶え間なくお客さんが訪れていました。



日本まんなか共和国「近江八幡二〇〇五」遷都式とシンポジウムがありました。熊川宿から

5/15 近江八幡シンポジウム

役員四名が出席し、宮本一男副会長が活動報告をしました。「判らないことがあったら熊川宿へ来てみて下さい。」と締めくくり、観客の反応が良かったようです。



3/29 鯖街道踏破の間宮さんを歓迎

鎌倉から鯖国ソウルまでの約二千キロを歩く「日韓交流徒歩の旅」に挑んでいる間宮武美さんが、同日夕方、熊川宿に到着されました。熊川宿を見学後、旧逸見勤兵衛家に宿泊され、翌日、小浜を目指して出発されました。



3/20 てっせん・熊川音頭練習始まる

伝統芸能保存会による踊りの練習会が始まりました。盆踊りやイベントに向けて毎月十日と二十日の夜、熊川児童館で練習しています。遊びがてら覗いてみて下さい。同保存会でも高齢化が悩みの種で、特に若い方のご参加をお待ちしています。

5/29

熊川宿語り部ハイキング

熊川宿の歴史や宿場町の良さを地元住民に知ってもらおうと、熊川区自主学級の主催で行われ、多数の参加がありました。



地元の語り部さんの案内で熊川宿を見て歩きました。

地元に住ながら知らない事が沢山あります。お寺や神社、かつての間屋、小路ひとつにも謂れやドラマがあり、改めて熊川宿の歴史の深さを確認しました。

5/下旬

熊川城跡山道を整備

熊川城跡へ登る山道を整備しました。宮本重光さんが間伐材を使って柵を作っていました。



熊川郵便局
横の町並み駐

車場に、高橋ご夫妻が巨大かぼちゃの苗を植え、防護ネットを張って下さいました。



5/下旬

見どころ案内板を補修

熊川宿の見どころを説明する看板が、長年の風雨に晒され傷んできたため、順次補修することになりました。

杉の板や支柱を調達して、数人で手分けして文字を書き、手作りの立派な看板が出来上がりました。



6/4

美しい若狹を創る協会総会

平成十七年度美しい若狹を創る協会の年次総会が小浜市中央公民館で開かれ、熊川宿から役員三名が出席しました。そして今回、熊川宿ま

ちづくり特別委員会が「みんなで創る住みよいコミュニティ」事業推進地区の指定を受けました。



7/1

あすの福井県を創る会に出席

茨城大助教授長谷川幸介先生の家庭教育講座に役員四名が出席しました。「三世代家族が減り祖父母が子や孫に教育することが少なくなった今日、ボランティア活動や子ども会、地域活動

を通じて核家族や子ども達が素直に受け入れ活動してほしい」と絵を示しながらの判りやすい講演でした。



ちょっとお知らせ

●12月19日付福井新聞に前川の記事が掲載されました



●5月9日付朝日新聞「週刊まちぶら」に熊川宿が紹介されました

あとがき

暑い日が続いていますが、毎日多くの方々が訪れています。

今号は、十七年度熊川区長の石倉さん、いつもお世話になっている熊川駐在所の中嶋さん、伝統芸能保存会の入江さんに、熊川について思うことや思い出を語っていただきました。

また、プレフェスタ国文祭やまちづくり総集会和ブータン歓迎会、白石神社の祭礼などいろいろな行事や活動があり、たくさんの方々と交流することができました。

三月三十一日には、市町村合併により「三方上中郡若狹町」として新たなスタートを切りました。

道路や前川などの景観整備もいよいよ完成間近になってきました。

これからは、美しい熊川宿が大切に保存され発展するよう、みんなで学び活動していきたいと思えます。

編集委員